

はじめに

海外で病気になるのは不安なもの。言葉の問題や医療制度の違いが思わぬトラブルのもとになったり、要らぬ心配を呼んだりします。自分の健康状態について知り、生活習慣を改善することが、突然大病に見舞われる危険を少なくします。また、ストレスによる身体の不調を起こさないためにも、日頃の健康管理が重要です。

ここで紹介する在蘭日本人健康診断は毎年1月・5月・9月の3回、日本人が多く居住するアムステルフェーン市で各回5日間に渡って開催されます。主催者は日本とオランダの医師免許の両方を所持する医師夫婦で、会場は同市にある公立病院アムステルラント病院です。オランダ及び近隣諸国に在住する日本人が対象で、事業所または個人単位で申し込むことができます。

両医師はJCC及びアムステルフェーン市役所と協議を重ね、2003年1月に本制度をスタートさせました。1992年来東京で開業していますが、健康診断期間中はオランダに出張し、日本語で診察します。日本から同行する専門スタッフが検査介助に、現地日本人スタッフが受診者の受付・誘導に当たります。検査は病院の各部門で実施されます。



「第1回在蘭日本人健康診断」
Amstelveens Weekblad
(2003.1.22日付)掲載写真

在蘭日本人健康診断
スタッフ・関係者



特色

- 検査項目は日本で行われている一般的な健康診断に準ずる内容です。日本のガイドラインを考慮して結果を判定します。
- 成人・若年者・学齢者健診の3区分と乳幼児内科診察を設け、家族単位の対応に配慮しております。
- 病院の協力体制により1回の来院ですべての検査が受けられ、待ち時間が最小限で済みます。
- ことばの問題を気にせずに気軽に受診できます。
- 両医師は内科診察・生活指導に当たるだけでなく、広範囲に渡る健康・医療相談にも応じ、紹介状や処方箋の交付も可能です。
- 検査はアムステルラント病院の各部門で実施され、心電図・画像診断の読影は同院の各専門医によって行われます。特殊検査項目は日本の臨床検査機関に委託します。
- 一部の検査結果の異常については、さらに詳しい分析(尿潜血陽性時の尿沈渣、血中ペプシノゲン判定陽性時のピロリ菌抗体検査、尿タンパク定量検査等)を行った上で、その結果を判定します。
- 検査結果報告書は日本語で作成し、医療機関の受診が必要なときはオランダ語の紹介状が添付されます(英語による対応も可能)。
- 再検査が指示された場合、次の健康診断期間中に二次検診を受けることができます。
- 継続的なケアが受けられるように、二次検診に加えて、遠隔医療サービス(TmS=Telemedicine Service)を設けています(後述参照)。

会場



アムステルラント病院 Ziekenhuis Amstelland

電話：(020) 347 47 47

住所：Laan van de Helende Meesters 8, Amstelveen

実施日程

毎年1月・5月・9月の中旬から下旬にかけて、毎週月曜から金曜まで5日間に渡って実施します。月日は午前・午後、火木土は午前のみです。完全予約制です。

所要時間の目安としては、婦人科検査・健康相談を除いて成人健診は平均1時間半ですが、病院の混み具合で大きく前後します。

健康診断の内容

下記の学齢者・若年者・成人健診について、()内は受診予定日後最初に来る3月31日における年齢です。

学齢者健診(6～15才)：身長・体重の測定、視力検査、内科診察、尿検査(糖・蛋白・血液・ウロビリノーゲン)。

若年者健診(16～29才)：学齢者健診の内容に加え、体脂肪率の測定、血圧測定、血液検査(貧血検査として赤色素量・赤血球数・MCV・MCH・MCHC、肝機能としてALAT(GPT)・ γ -GTP、脂質として総コレステロール・HDL・中性脂肪、腎機能としてクレアチニン)、心電図。

成人健診(30才以上)：若年者健診の内容に加え、聴力検査、便潜血検査、追加の血液検査項目(糖尿病検査として血糖値・HbA1c、腎機能としてアミラーゼ、血液算定として白血球数・血小板数、肝機能としてASAT(GOT)・ALP・LDH・総蛋白、腎機能として尿素窒素・尿酸値)。

二次検診(前回健診の受診者のみ)：前回の健診で再検査・経過観察を指示された検査項目と補足的検査、健康相談。二次検診に限り、再検査と共に肝機能異常では肝炎検査・上腹部エコー、尿潜血及び腎機能異常では腎エコーなども申し込むことができます。

追加検査：すべての喫煙者は年1回の胸部X線撮影、40才以上の方・胃の不調のある方は1～2年に1回の胃癌検診(血中ペプシノゲン測定)、25才以上の女性は1～2年に1回の子宮癌検診(子宮頸癌細胞診)、40才以上の男性は1～2年に1回前立腺癌検診(血中PSA測定)を受けるとよいでしょう。50才以上の女性及び乳癌のリスクが高い方(家族歴等)は1～2年に1回乳癌検診(マンモグラフィ)をお勧めします。

上記以外の検査をご希望の方はお問い合わせください。

健康診断の費用

学齢者健診： € 175.00
若年者健診： € 425.00
成人健診： € 575.00
二次検診： 受診料€ 100.00 + 検査料
追加検査： 胸部 X 線撮影
胃癌検診（血中ヘプシノゲン測定）
子宮癌検診（子宮頸癌細胞診）
前立腺癌検診（血中 PSA 測定）
以上各項目€ 100.00
乳癌検診（マンモグラフィ）€ 200.00

※追加検査は単独では申し込めません。

※学齢者健診の申し込みは同時に保護者が若年者健診または成人健診を受診する場合のみ受け付けます。

※健康相談は無料です。5才以下の乳幼児の健康診断はありませんが、内科診察は無料で行います。

登録手続き

募集期間は健康診断期間開始日の約3ヵ月前から約8週間前までです。ただし、所定の人数に達した時点で締め切らせていただきます。

受診ご希望の方は、募集期間中に健康診断の詳細・登録用紙をウェブサイトからダウンロードするか、下記の連絡先にご請求ください。

登録用紙にご記入の上、ファックス・メールにてご送信願います。請求書をファックス致しますので（オリジナルは後日発送）、指定の口座にお振込ください。入金確認後予約日時をお知らせ致します。このお知らせをもって登録手続き完了となります。

※急な出張等業務上の理由を除き、予約日時決定後の変更・キャンセルはできませんので、ご注意ください。

支払い方法

受診費用はオランダ所在の銀行にユーロで振り込んでいただきます。理由にかかわらず入金後の払い戻しは致しません。ただし、出張等やむを得ない事情で期間中の受診が不可能な場合、1回に限り延期できます。

遠隔医療サービス

健康診断費用に加えて1同居家族当たり€ 300.00のご負担にて、健康診断の日から翌年同月末日まで1年間遠隔医療サービス（TmS）がご利用になれます。

TmSは健康診断受診者を対象にインターネットの利用により、両医師が日本にいる間も健康・医療上の問題に対応するシステムです（緊急を除く）。紹介状や処方箋の交付も可能です。

医師の紹介

二人の医師はアムステルダム大学医学部卒業後、アムステルダム大学付属病院インターン、日本医科大学付属病院形成外科、十仁病院を経て、美容外科・皮膚科専門医として東京スキンクリニックを開設、現在に至っています。オランダでは内科・外科・産婦人科等各科を扱う一般医の教育を受けているため、在日外国人のプライマリケアや企業・学校健診にも携わってきました。オランダ・日本両国の医師免許を所持し、日本美容外科学会認定専門医・日本医師会認定産業医を取得しました。東京医科歯科大学情報医学研究部門に所属し、遠隔医療の研究をしています。



岡部夕里：東京都中央区生まれ。東京外国語大学フランス語科卒業、アムステルダム大学言語学科修士課程卒業。日本美容外科医師会前会長。韓国美容外科学会名誉会員。日本医師会、王立オランダ医師会等所属。
BIG NR: 69023075601 医籍登録番号: 5044



ルネ・デュ・クロー：オランダ・アムステルダム生まれ。日本美容外科学会誌副編集委員長。世界抗老化医学会名誉会員。日本医師会、王立オランダ医師会等所属。
BIG NR: 79020476201 医籍登録番号: 5510

お問い合わせ・連絡先

お願い：なるべくメールまたはファックスをご利用ください。

六本木通りクリニック*
〒106-0032 東京都港区六本木 3-1-24-4F
TEL：03-3585-0282 FAX：03-3560-7488/-0799
e-mail：kenkoshindan@mac.com
URL：www.tokyo-skin-clinic.com/kenkoshindan/

* 六本木通りクリニックは診療所東京スキンクリニック内でプライマリケアにおけるメディカルサービスを提供している事業の名称です。

在蘭日本人健康診断™



六本木通りクリニック
roppongi avenue clinic